

2008年11月26日

企業会計基準委員会と米国財務会計基準審議会が グローバル・コンバージェンスを議論する会合を開催

企業会計基準委員会
米国財務会計基準審議会

企業会計基準委員会(ASBJ)と米国財務会計基準審議会(FASB)の代表者は、今週、ノーウオーク(米国)で会合を開催いたしました。この会合は、ASBJの西川委員長、FASBのハーズ議長主導の下、会計基準のグローバル・コンバージェンスを目指した相互の対話を促進するためにASBJとFASBが定期的に行っているもので、第6回目となりました。

ASBJ及びFASBにとっての重要な取組みは、国内及び海外で利用するための共通の高品質な会計基準の開発を目指すことです。両者は、世界の主要なビジネスや資本市場における共通の財務報告は、信頼性、比較可能性、概念的十分性を有した有効な財務情報を提供する上での決定的な要素であると考え、IASBとコンバージェンスに向けた作業を行っています。

今回の会合の中で、両者は、1組のグローバルな基準の開発に向けたお互いの戦略を議論しました。また、最近の国際的な金融危機へ基準設定主体の対応についても議論を行いました。そして、会計基準は、資本市場の信頼性及び透明性を促進することにより、世界的な経済的インフラストラクチャーとして、非常に重要な役割を果たしていることを再確認しました。

さらに、両者は以下のプロジェクトの状況について意見交換を行いました。

- 概念フレームワーク
- 連結(特別目的事業体を含む)及び認識の中止
- 負債と資本の区分
- 金融商品
- 財務諸表の表示

両者は、このような継続的な議論により相互理解を深めることは、ASBJ及びFASBにおけるこれからの審議や、中長期的に改善を図る重要な項目に対してIASBとともに進めている今後の高品質な会計基準の開発に寄与すると考えられます。両者は、引き続き、長期的課題

や現在の懸案事項について意見交換していくことといたしました。

西川郁生 ASBJ 委員長は次のように述べています。

「会計基準の重要性が世界的に改めて強調される中で、最近の金融危機への会計の観点からの対応を含めて、FASB との間で広範な論点について議論ができたことは特に有益でした。ASBJ は、金融危機への対応を含む 1 組の高品質なグローバルな会計基準の開発に向けて、FASB、IASB 及び他の主要な会計基準設定主体とともに財務情報への信頼を高めるべく、引き続き緊密に協力していきたいと思えます。」

これを受けて、ロバート・ハーズ FASB 議長は次のように述べています。

「ASBJ からの仲間との今回の会合は、世界的な金融危機とその危機から発生している財務報告上の問題の観点から、特にタイムリーで有益でした。この危機の間もその後においても、それらの問題点及び投資家や資本市場への報告を改善するために考えられる方法についての大局的な見方を共有することが、主要な国際的資本市場にまたがる高品質な財務報告という我々の共通の目標の推進にとって非常に重要なことです。」

なお、次回の会合は 2009 年 3 月に東京で開催する予定です。

企業会計基準委員会 (ASBJ) について

ASBJ は、2001 年 7 月に民間部門の機関として設立された。ASBJ が開発した会計基準は、金融庁により一般に公正妥当と認められた企業会計の基準として認められることとなる。ASBJ は、企業が活動している環境を適切に反映した会計基準及び適用指針を開発している。ASBJ は、海外の会計基準設定主体とコミュニケーションを取り、グローバルな会計基準の開発に貢献している。ASBJ に関する詳細な情報は、ホームページ <http://www.asb.or.jp/> をご参照いただきたい。

米国財務会計基準審議会 (FASB) について

FASB は、1973 年以来米国における財務会計及び財務報告基準を設定するための民間部門の機関として指定されている。それらの基準は、財務報告書の作成を規定し、証券取引委員会及び米国公認会計士協会により権威のあるものとして正式に認識されている。投資家、債権者、監査人及びその他の人々は、信頼性、透明性、比較可能性のある財務情報を必要とするため、このような基準は、経済の効率的機能にとって不可欠である。FASB に関する詳細な情報は、ホームページ <http://www.fasb.org/> をご参照いただきたい。